

発泡ポリプロピレン製コアを使用した同軸ケーブル

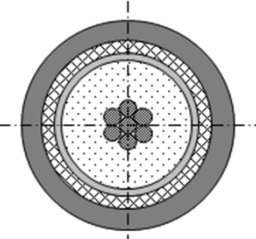
作成：2014年 6月17日

SHIKOKU CABLE CO., LTD.

発泡ポリプロピレンを絶縁体に使用し絶縁体の架橋を必要としない耐ハンダ性保有の低損失高周波同軸ケーブルの製造に成功

ケーブル品名：2DS-PPFHB(A)

主な用途：車両アンテナ用全般

Cross Section	Parts	Material	Structure	Size
	Inner Conductor	軟銅撚線	A0.27/7	Φ0.81
	Insulation	発泡 ポリプロピレン	Thickness 0.64	Φ2.1
	Outer Conductor1	アルミ箔 テープ	Width 9mm	Approx. Φ 2.2
	Outer Conductor2	錫メッキ 軟銅編組	0.10/6/16	Approx. Φ 2.7
	Jacket	PVC	Thickness 0.25	Φ3.2
Weight /Length		17 kg/km		

使用温度範囲	-40℃~+105℃
生産可能拠点	中国(東莞)工場 及び ベトナム(ハノイ)工場

内部導体抵抗	Max. 46.7 Ω/km
外部導体抵抗 (参考値)	Approx. 27Ω/km
特性インピーダンス	50Ω

周波数ごとの標準減衰量	
200 MHz	210 dB/km
800 MHz	448 dB/km
1500 MHz	645 dB/km
2000 MHz	763 dB/km
2800 MHz	934 dB/km
3000 MHz	975 dB/km

耐ハンダ性確認方法
+360℃のハンダ槽に10秒浸し変型無きことを確認

既存の架橋発泡PEとの優位性
架橋工程を必要としないことによる製造工程数の低減
海外2拠点で製造可能となり、供給リスクの低減

詳細な仕様のご案内 及び ご用命は当社ホームページ問い合わせ窓口をご利用頂くか または、当社営業部までお問い合わせ頂けます様、お願い申し上げます。